



# 住宅防火 いのちを守る 10のポイント

様々な火災の中でも、特に住宅で発生する火災で多数の死者が出ており、その出火原因はたばこ、ストーブ、こんろ、電気機器など、生活するうえで身近にある機器が多くを占めます。

日頃から取り組んでいただく住宅防火対策として、4つの習慣、6つの対策からなる「住宅防火いのちを守る10のポイント」を取りまとめました。

ぜひ、ご家族の皆さままで住宅火災からいのちを守るためのポイントをご確認ください。

## 4つの習慣



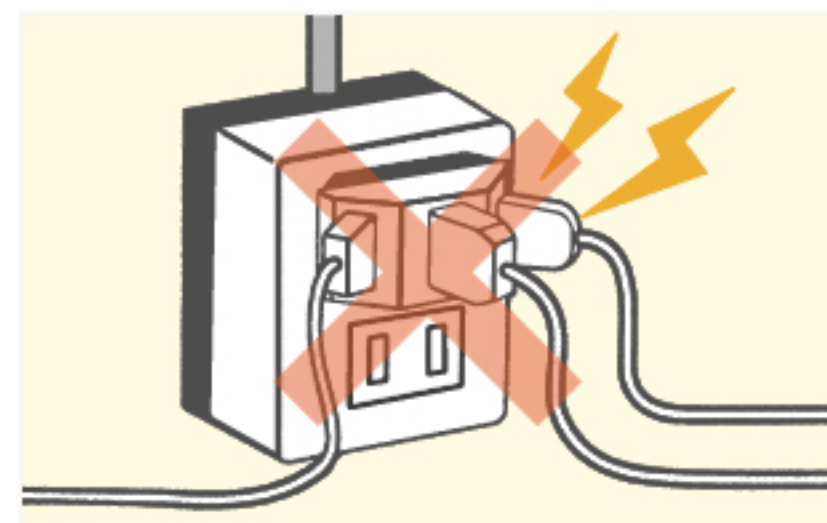
①寝たばこは絶対にしない、させない



②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



③こんろを使うときは火のそばを離れない



④コンセントはほこりを掃除し、 unnecessary プラグは抜く

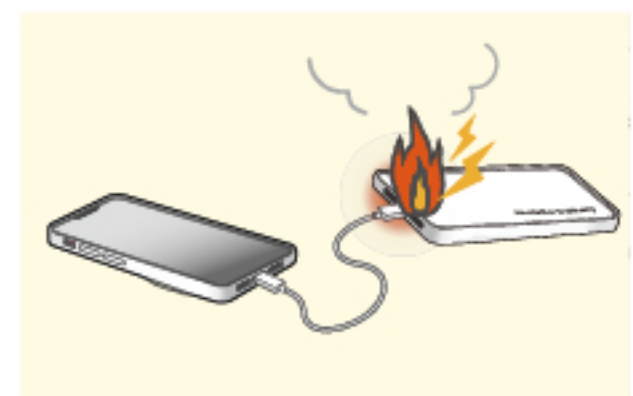
## 6つの対策



①放火されないよう、新聞紙・ダンボールなど燃えやすい物を置かない、物置・車庫は必ず鍵をかけておく



②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



③取扱説明書をよく確認し、充電中に異常がある場合は使用をやめ、製造会社や販売店に相談する



④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使用方法を確認しておく



⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う